

光格天皇「御讓位並御即位記」など、近世宮中儀式に関する貴重な資料（宮内庁書陵部所蔵）をデジタル公開

概要

国文学研究資料館（以下、「国文研」）では開館以来、宮内庁書陵部（以下、「書陵部」）と協力し、書陵部が所蔵する古典籍についてマイクロフィルムでの収集を行い、来館者への閲覧サービスを行ってきました。2011年度にはインターネット上での公開に関する覚書を締結し、翌年度からフィルムからデジタル化をし、インターネット上で一般公開しております。さらに2017年度からは、**原本からのカラー高精細でのデジタル化をすすめ、書陵部所蔵の貴重資料の公開を進めております。**

今回の新たに追加されるコンテンツ（42点）のうち特に注目できるのは、次の二点です。

○光格天皇・仁孝天皇・孝明天皇の時代の「御讓位並御即位記」をはじめとした近世の宮中の儀式に関する貴重な資料の公開

○孤本（唯一の伝本）とされる「とはすかたり」のカラー公開

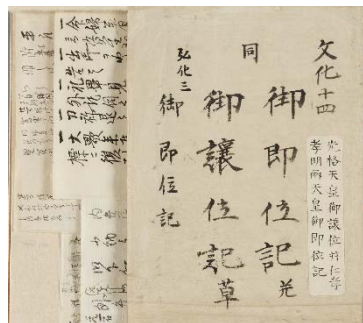
公開された画像は、インターネット経由で、いつでもどなたでも、手続き不要でご覧いただけます。なお、今回は報道資料用に画像を用意しています。条件等は別紙「提供する画像の使用について」をご覧ください。

- 公開年月日：2019年2月25日（月）
- 公開数：42点（作品数）・6,269コマ（画像ファイル数）
- 公開サイト：新日本古典籍総合データベース（公開中）：<http://kotenseki.nijl.ac.jp>
書陵部所蔵資料目録・画像公開システム（順次公開）：
<https://shoryobu.kunaicho.go.jp>
- 利用条件：報道資料については、別紙「提供する画像の使用について」をご参照ください。その他一般の利用は、宮内庁書陵部図書課図書寮文庫出納係へお問合せください。
<http://www.kunaicho.go.jp/kunaicho/shinsei/toshoryo.html>

今回公開する資料のご紹介

今回公開した資料の中には、次のような貴重な資料が含まれています。

※ **画像** アイコンの下に記載しているDOI（デジタルオブジェクト識別子）のリンク先から直接画像を閲覧できます。



御讓位並御即位記（ごしょういならびにごそくいき）
（文化14年・弘化3年・光格天皇・仁孝天皇・孝明天皇）
（小槻以寧（おづきしげやす）自筆）

光格天皇の讓位及び仁孝天皇の即位、孝明天皇の即位の儀式等について記された記録（草稿）。

画像 <https://doi.org/10.20730/100275902>

本件に関するお問い合わせ先

国文学研究資料館 古典籍共同研究事業センター事務室 古典籍共同研究係
E-mail: cijinfo@nijl.ac.jp
TEL:050-5533-2988 / FAX:042-526-8883

■ プレスリリース ■

宮内庁書陵部および国文学研究資料館のご紹介

宮内庁書陵部

書陵部は、宮内庁の一部局で、皇室関連資料を中心とする歴史的資料の保存管理や整理・公開、陵墓の管理と調査等を行うと共に、皇室の制度や文化の総合的な調査研究を行っています。昭和24年（1949）に宮内府が宮内庁に改組にされた際、前身である図書寮の職務を引き継いで誕生しました。

現在、書陵部が所蔵する歴史的資料のうち、皇室に伝わった古典籍・古記録・古文書類のほか、明治以降に移納された公家や大名、学者の家の旧蔵資料など、合わせて約39万点は、図書寮文庫が所蔵しています。

【宮内庁書陵部図書寮文庫】

<http://www.kunaicho.go.jp/kunaicho/shinsei/toshoryo.html>

【書陵部所蔵資料目録・画像公開システム】

<https://shoryobu.kunaicho.go.jp/>

大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 国文学研究資料館



国文学研究資料館は、国内各地の日本文学とその関連資料を大規模に集積し、日本文学をはじめとする様々な分野の研究者の利用に供するとともに、それらに基づく先進的な共同研究を推進する日本文学の基盤的な総合研究機関です。

平成26（2014）年度からは、人文系では初の大規模学術フロンティア促進事業「日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画」がスタートしており、国文研が中心となって国内外の大学等と連携し、日本語の歴史的典籍のデジタル化と、国際共同研究ネットワークの構築を推進しています。

【国文学研究資料館 ホームページ】

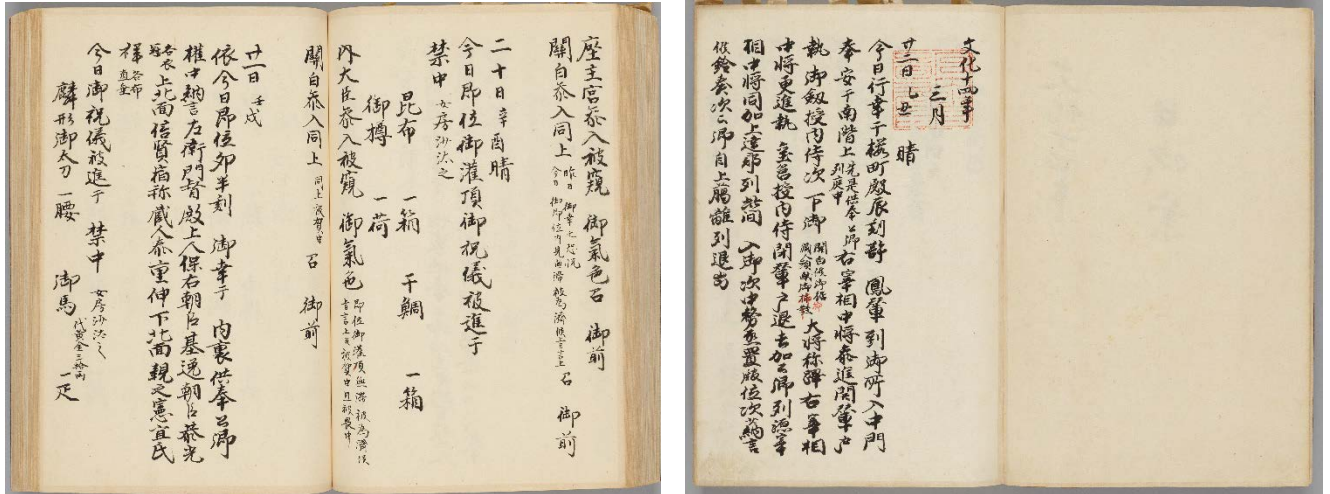
<http://www.nijl.ac.jp/>

【日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画】

<http://www.nijl.ac.jp/pages/cijproject/>

公開された資料をいくつかご紹介します。

洞中日次案（とうちゅうひなみあん）（光格上皇・東山御文庫本・文化14年～天保11年）



光格天皇が譲位した文化14年3月22日以降の記録で、行幸の様子や儀式の次第などが詳細に記されている。画像右は巻頭の文化14年3月22日、左は仁孝天皇即位の礼が行われた同年9月21日。

画像 <https://doi.org/10.20730/100275908>

とはすかたり（とわずがたり）（江戸期写）



鎌倉時代の中期に後深草院二条によりつづられたとされる日記。現在、宮内庁書陵部所蔵の本書のみが伝来している孤本とされる。

画像 <https://doi.org/10.20730/100265457>

本プレスリリース資料及び別紙に掲載された画像は、いずれも表示されたURLから閲覧することができます。

報道資料用のご利用は、別紙「提供する画像の使用について」をご参照ください。